



大地申  
第14号

## 「業務体制の見直し」に関する解明申し入れ 提出する!

大宮地本は、大宮支社より「業務体制の見直しについて」の提案を受け、関係組合員と議論を行ってきました。

今施策は、新幹線業務に関する組織改正に伴い、業務体制の見直しを実施するというものですが、提案時に会社からは「体制見直しの詳細はまだ決まっておらず、決まり次第別途示す」というものでした。運輸関係では、大宮総合車両センターの新幹線PTを小山新幹線車両センターにすることで、これにより効率的な業務体制になることや、新幹線に関わる業務が新幹線統括本部設置に伴い集約されるなど、業務内容に大きな変更はないものの新幹線に特化した組織体制の見直しが実施されます。

一方、JR東海のぞみ号で発生した台車亀裂など、新幹線の派出の重要性が増加してきています。しかし、新幹線の安全・安定輸送を確保し、それを担う人材の育成など具体的な体制が決まっています。また、設備関係においても、大宮新幹線保線技術センターが隣接支社との組織統合が行われる中で、「業務をどのような体制で行うのか」「体制変更することでどう変化するのか」など詳細が示されていません。

会社提案で「人員削減だけが目的ではない」と説明がされていますが、具体的な業務が決まっていない中で要員が示されており、職場から不安の声が上がっています。

現場の組合員の納得感や将来の展望を持って施策を担うため、詳細を明確にするためにも申し入れを行いました。

### 記

#### 【共通】

1. 新幹線の「業務体制の見直しについて」に伴う、大宮支社内における体制変更の有無ならびにその内容を具体的に明らかにすること。
2. 今施策実施後の研修・出張の考え方について明らかにすること。
3. 今施策実施後の異動の考え方について明らかにすること。

#### 【運輸部門】

1. 今施策実施に伴う、小山新幹線車両センターならびに大宮総合車両センターの見直し内容を具体的に明らかにすること。
2. 今施策実施に伴う、新幹線PTの勤務体系及び業務内容・執務箇所を明らかにすること。
3. 標準数を変更する根拠を明らかにすること。
4. 那須塩原電留線の将来展望について明らかにすること。

#### 【設備部門】

1. 大宮新幹線保線技術センターの「業務体制の見直し」について、具体的な内容を明らかにすること。
2. 今施策実施後の大宮新幹線保線技術センターにおける構成するグループと要員配置について明らかにすること。また、現在の東京エリアにおける保守の考え方について明らかにすること。
3. 今施策における大宮新幹線保線技術センター・宇都宮新幹線保線技術センターの新たな業務内容の有無、ならびにその内容を明らかにすること。
4. 今施策における大宮土木技術センター・大宮建築技術センター・大宮機械技術センターおよび大宮支社設備部関係主管課の業務体制について明らかにすること。

安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場を目指し交渉を創り出そう!